

# 2013年3月期 上期 (2012年4月～9月) 決算説明会

2012年10月26日

代表取締役社長 謝敷 宗敬

新日鐵住金ソリューションズ株式会社

# 2013年3月期上期 連結決算ハイライト

(億円)

	2012/3期 上期実績 A	2013/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	2013/3期 上期見通し(4/27) C	対見通し 差異 B-C
売上高	762	817	+55	800	+17
業務ソリューション	402	433	+31	425	+8
基盤ソリューション	97	93	-4	95	-2
ビジネスサービス	263	291	+28	280	+11
売上総利益	151	153	+2	150	+3
<売上高総利益率>	<19.8%>	<18.7%>	<-1.1%>	<18.8%>	<-0.1%>
販管費	101	99	-2	102	-3
営業利益	50	54	+4	48	+6
経常利益	52	58	+6	50	+8
当期純利益	27	32	+5	28	+4

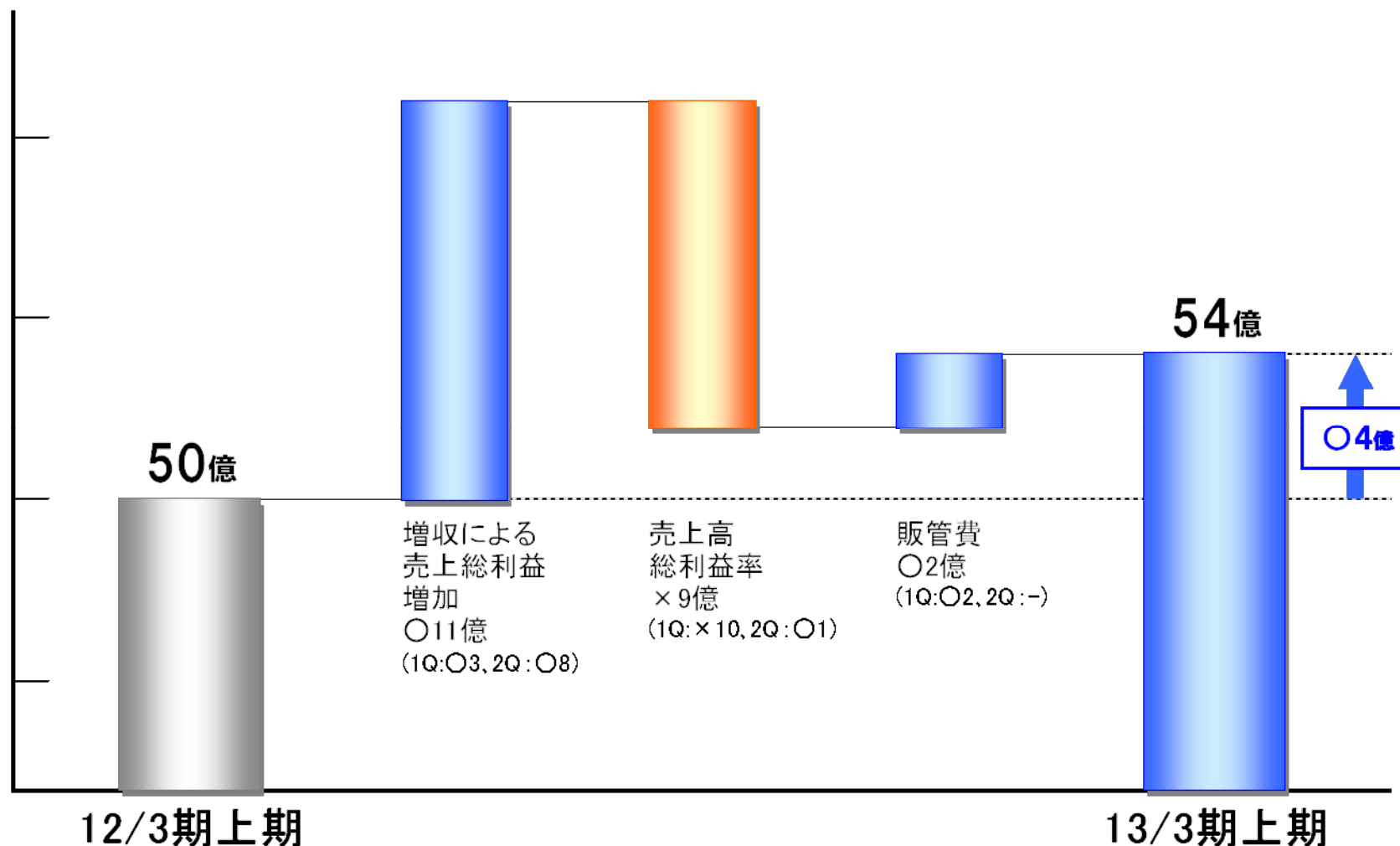
# 2013年3月期上期 サービス・顧客業種別の売上高



(億円)

	2012/3期 上期実績 A	2013/3期 上期実績 B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	336	353	+17	-
産業・流通・サービス	176	194	+18	電機向の減を他領域でカバー
金融	111	101	-10	一部銀行向の減
社会公共他	49	58	+9	中央省庁等案件増
基盤ソリューション	88	82	-6	プラダ外販売減
ビジネスサービス	261	289	+28	統合案件等の鉄鋼増 テレコム高水準
子会社等	77	93	+16	子会社独自案件増
合計	762	817	+55	-
受注高	808	941	+133	-

# 2013年3月期上期 連結営業利益対前年同期分析








# 2013年3月期上期 四半期別連結業績

(億円)

	2012/3期上期			2013/3期上期			対前年		
	1Q実績	2Q実績	上期実績	1Q実績	2Q実績	上期実績	1Q差異	2Q差異	上期差異
	A	B	C	D	E	F	D-A	E-B	F-C
売上高	363	399	762	379	438	817	+16	+39	+55
業務ソリューション	181	221	402	196	237	433	+15	+16	+31
基盤ソリューション	52	45	97	45	48	93	-7	+3	-4
ビジネスサービス	130	133	263	138	153	291	+8	+20	+28
売上総利益	79	72	151	72	81	153	-7	+9	+2
<売上高総利益率>	<21.8%>	<18.0%>	<19.8%>	<19.0%>	<18.4%>	<18.7%>	<-2.8%>	<+0.4%>	<-1.1%>
販管費	52	49	101	50	49	99	-2	-	-2
営業利益	27	23	50	22	32	54	-5	+9	+4
経常利益	29	23	52	24	34	58	-5	+11	+6
当期純利益	14	13	27	11	20	32	-3	+7	+5

# サービス・顧客業種別の市場認識

サービス・顧客業種	市場認識	市場動向
業務ソリューション		
産業・流通・サービス	電機を中心に顧客業績悪化を受け慎重な投資姿勢が継続。自動車等でも急激な投資姿勢変化の懸念あり。小売分野のIT投資は足元堅調なるも先行きは不透明。	
金融	メガバンクでは中期的な成長戦略を踏まえたIT投資が見込まれる。地銀・証券はIT投資に対し消極的な状況が継続。	
社会公共他	IT予算は全体として削減基調の中、ベンダー間の受注競争はさらに激化。	
基盤ソリューション	プロダ外販売、構築、運用とも、ベンダー間の厳しい価格競争が継続。構築系からサービス系ビジネスモデルへの転換が進行。	
ビジネスサービス	鉄鋼は統合関連は堅調であるものの、個別案件審議は厳格化。テレコム、運用・アウトソーシングサービスは引続き高水準で推移。	

# 2013年3月期 連結業績見通し

(億円)

	2012/3期 実績 A	2013/3期 見通し(10/26) B	対前年 差異 B-A	2013/3期 見通し(4/27) C	対見通し 差異 B-C
売上高	1,616	1,700	+84	1,700	-
業務ソリューション	887	945	+58	945	-
基盤ソリューション	195	200	+5	200	-
ビジネスサービス	534	555	+21	555	-
売上総利益	308	322	+14	326	-4
<売上高総利益率>	<19.0%>	<18.9%>	<-0.1%>	<19.2%>	<-0.3%>
販管費	200	200	-	204	-4
営業利益	108	122	+14	122	-
経常利益	111	125	+14	125	-
当期純利益	52	73	+21	73	-

# 2013年3月期 サービス・顧客業種別の売上高見通し



(億円)

	2012/3期 実績 A	2013/3期 見通し B	対前年 差異 B-A	コメント
業務ソリューション	742	800	+58	-
産業・流通・サービス	376	405	+29	自動車関連等に期待
金融	225	230	+5	メガバンク案件増
社会公共他	141	165	+24	中央省庁案件の実行
基盤ソリューション	173	180	+7	基盤統合関連に期待
ビジネスサービス	530	550	+20	鉄鋼増、テレコム・運用サービス 好調継続
子会社等	171	170	-1	
合計	1,616	1,700	+84	-

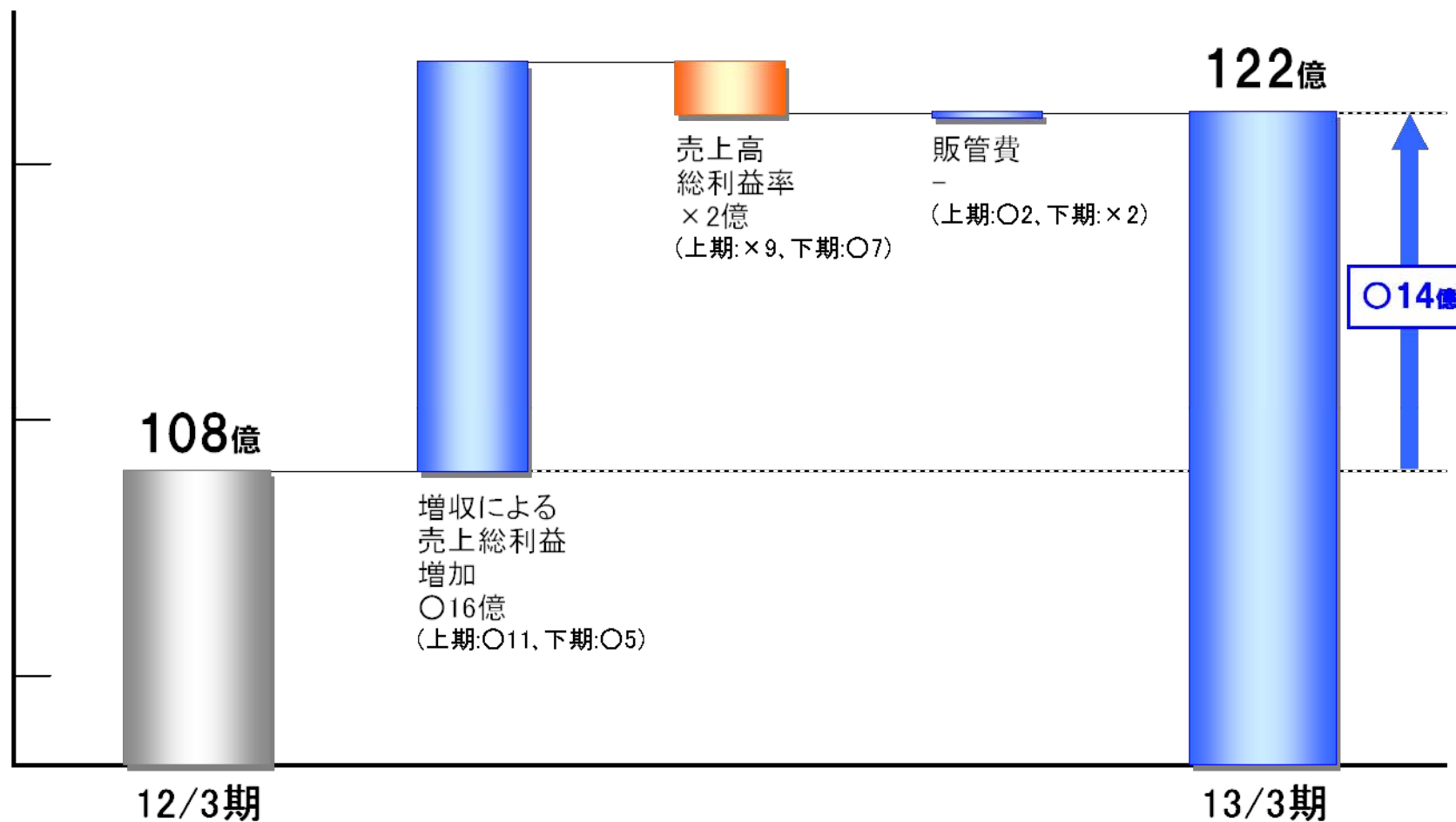


# 2013年3月期 上下別連結業績見通し

(億円)

	2012/3期		2013/3期		対前年	
	上期実績 A	下期実績 B	上期実績 C	下期見通し D	上期差異 C-A	下期差異 D-B
売上高	762	854	817	883	+55	+29
業務ソリューション	402	485	433	512	+31	+27
基盤ソリューション	97	98	93	107	-4	+9
ビジネスサービス	263	271	291	264	+28	-7
売上総利益	151	157	153	169	+2	+12
<売上高総利益率>	<19.8%>	<18.4%>	<18.7%>	<19.2%>	<-1.1%>	<+0.8%>
販管費	101	99	99	101	-2	+2
営業利益	50	58	54	68	+4	+10
経常利益	52	59	58	67	+6	+8
当期純利益	27	25	32	41	+5	+16
期首受注残	610	656	688	812	+78	+156

# 2013年3月期 連結営業利益対前年同期分析



# 2013年3月期の主要施策の進捗状況 (1/3)

## トップラインの拡大

- 成長事業分野へのリソース投入
  - アイルランドOPENET社との業務・資本提携
- 生産性の向上
  - SDCクラウド適用拡大 (IaaS環境活用: 約270件(前9月)→300件(3月)→350件(9月))

## クラウド・サービス事業の総合的展開

- 第5データセンター
  - サービス開始 (1階:5月開始、2~3階:12月開始)
- absonne \*1 を活用した大型包括アウトソーシングの推進
  - 既受注案件への対応
- SaaS等付加価値メニューの展開
  - DaaS、NSAppBASE for Campus Square \*2
  - SaaS (電子契約、日本語検査サービスことしらべ、デジタルコンテンツ不正利用防止サービス、等)

\*1 absonne(アブソンヌ):クラウドコンピューティングITインフラサービス、\*2 NSAppBASE for Campus Square:学務システムクラウドサービス

# 2013年3月期の主要施策の進捗状況 (2/3)

## 成長領域への展開

- スマートデバイスソリューション
  - 「hifive」(OSS)機能強化、実案件対応
  - フィリピンデザインラボ活用による高速プロトタイピング
- データサイエンス・BigData
  - 流通・サービス向け等実案件対応
  - アプライアンスサーバ等関連プロダクトの拡販

## グローバル対応

- 東南アジア事業拠点の拡充
  - シンガポール:クラウド環境を構築し、年内サービス開始予定
  - タイ:新日鐵住金グループ等お客様のサポートのため、現地法人設立を準備中
- NS Solutions USA ニューヨーク拠点の拡充

# 2013年3月期の主要施策の進捗状況 (3/3)

## 新日鉄・住友金属経営統合への取組み

- 経営統合時のシステム対応を完遂
- 新日鐵住金の統合効果発揮のためのシステム対応およびグループも含めたグローバル展開等を全力でサポート

## 戦力構造の高度化

- 高度IT人材育成のための人材育成フレームワークの策定
- グローバル人材育成の強化

- ◇安定配当と将来の事業拡大等に備えた内部留保の確保
- ◇株主への利益還元

## 1株当たり年間配当金の計画

2012年3月期  
40.00円



2013年3月期  
40.00円

第2四半期末、1株あたり20円を配当いたします。

期末、1株あたり20円を配当する予定です。

これにより、年間配当金は、当初公表通り、1株あたり40円となる見込みです。

# 上期以降主要プレスリリース

- 4月11日 専任事業組織スマートデバイスソリューションセンターを設置しスマートデバイスソリューションを強化、HTML5に準拠した開発フレームワーク hifiveをOSSとして公開
- 4月20日 第5データセンターが5月1日に開業、クラウド事業の中核拠点が稼働
- 4月26日 Cloudera社と提携、Apache HadoopディストリビューションCloudera Enterpriseの国内販売を開始
- 4月27日 新日鉄住金ソリューションズ株式会社への商号変更のお知らせ
- 5月29日 日本語文書検査サービス「ことしらべ」の外販を開始
- 5月31日 NsxpresII電子契約サービスの外販を開始
- 6月5日 集英社殿 コンテンツ不正利用防止サービスにより成果
- 6月13日 ハイトラフィック時代に求められるネットワーク制御ソフトウェアの開発・販売でグローバルマーケットをリードするOPENET社と業務・資本提携
- 6月25日 基幹システム向クラウド・サービス absonne(アブソンヌ)を大幅強化
- 6月28日 米国AppDynamics社と提携、次世代のアプリケーションパフォーマンス管理製品の日本販売を開始
- 7月2日 (参考資料)資生堂販売殿、PC端末3,500台にデスクトップ仮想化サービスを導入
- 8月20日 東京大学殿、NSAppBASE(エヌエスアップベース)for CampusSquareを採用し、学務システムをクラウドサービスに移行
- 8月22日 静岡福祉大学殿、長野サマライズセンター殿、エプソン殿と聴覚障がい者を支援する新しい聴覚情報補助システムの開発を目指し、ヘッドマウントディスプレイを用いた共同実証実験を実施
- 8月29日 ノーチラス・テクノロジー社と協業し、HadoopとAsakusaFrameworkを活用した基幹系システム周辺のバッチ処理高速化サービス提供を開始
- 10月24日 スクウェア・エニックス殿、オンラインゲームのIT基盤にOracle Exadataを導入(日本オラクル殿リリース)

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。





<http://www.ns-sol.co.jp/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、新日鉄住金ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。  
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。